



のう み こうぎょう
能美工業 株式会社



代表取締役
のう み たかし
能美 孝司さん

**中量生産に特化
日本でのものづくりを追求**

当社はFC（片状黒鉛鋳鉄）、FCD（球状黒鉛鋳鉄）などの加工で、月産100個から1,000個の中量生産を得意としています。海外で生産する必要がない少量から中量の製品や特別な技術が必要とする製品の生産は必ず日本に残ると考えています。そのニーズを取り込むため日々技術力の研鑽に励んでいます。必要な設備の導入はもちろん、各種技能国家試験1級受験サポートなど人材育成にも積極的に取り組んでいます。

■主な事業内容
機械金属加工業

■主な取引先（納入先）
油圧機器部品メーカー、船舶用エンジンメーカー、電力機器部品メーカー

住 所 / 〒570-0032
大阪府守口市菊水通3-11-17
TEL / 06-6996-9251
FAX / 06-6996-5351
創 業 / 昭和26年3月
設 立 / 昭和41年3月
資本金 / 2,000万円
従業員 / 20名

高精度な加工技術で 油圧機器関連の複雑形状部品製造

事業内容と沿革 多品種中量生産で難易度の高い製品を製造

昭和15年、大阪市電気局（当時）で技術士を務めた創業者の能美孝氏が、積算メーターの部品加工を行う「能美工業所」を設立。戦災で焼失し、昭和20年に廃業したが、戦時中に感じた米国との技術力の差がその後の経営方針に活かされている。昭和26年3月、機械部品加工業として新たに創業し、切削加工を中心に技術の研鑽を重ね、大手企業の精密部品加工を手がけてきた。

現在はダイキン工業(株)の油機事業部やダイキン・ザウアーダンフォス(株)のグ

ローバルサプライヤーとして、建設機械・農業関連機械などの特殊車両用油圧ポンプや油圧モーターの主要部品であるSWP（スワッシュプレート）や周辺機器、産業機械向け油圧製品の部品などを製造している。約500種の多品種を取扱い、月産100個から1,000個の中量生産を得意としている。「大量生産品は海外に出してしまう。日本でのものづくりを追求したい」と語る能美孝司社長。難易度の高い製品で差別化を図る。



①高精度加工を行う本社と工場
②NC旋盤での加工の様子
③MCを使った加工
④円筒研磨機での加工
⑤山口崇氏が3位入賞

強み

長年のノウハウと技術力、豊富な材料調達先

主力製品のSWPと周辺機器は製造が困難な複雑形状のワークが多く、取り付け治具の工夫や適切な切削順序の見極めなどが必要で、長年培ったノウハウや技術力で対応している。また、製品の製造には、1,000分の1mm単位の高精度な加工技術が必要で大半の社員がこの技術をクリアしている。

FC（片状黒鉛鋳鉄）やFCD（球状黒鉛鋳鉄）などの材料は鋳造業者11社、鋼材商社4社と直接取引し、安定調達が可能。単価や品質、納期など適切な業者から選べるのが、大きな強みとなっている。工場には47台のさまざまな機械が並ぶが、マシニングセンター（MC）10台、ドリルセンター9台、NC（数値制御）旋盤26台、平面研削盤・円筒研磨機各1台の設備は国内大手5社から購入している。導入コストの削減や自社の加工に最も適した機械を選択するため、以前、機械工具商社に勤めていた能美社長は「各メーカーの優れた技術力、発信力を最大限利用したい」と語る。

取り組み

各種技能国家試験に挑戦

設備への投資のほかに有能な人材の育成にも注力している。10年以上勤務した社員の中から希望者を募り、各種技能国家試験1級の取得を会社としてサポートしている。現在まで、マシニングセンター1級技能士1名、NC旋盤1級技能士4名の合格者を輩出した。平成29年も3名の挑戦を予定している。今後は国家試験合格のためのノウハウを蓄積し、仕上げ加工、研磨機、保全技能など受験の分野を広げていく考え。

また、さらに技術を高めるため、平成25年からダイキン工業(株)内の技能オリンピックに参加している。平成28年には社員の山口崇氏が国内予選を勝ち上がり、10ヵ国から149名が参加した10種目が行われるグローバル大会に進出し「仕上げ加工の部」で銅メダルを獲得した。能美社長は「今回は社員にとって世界的な技術レベルを体感できる良い機会になったのではないだろうか」と話す。

今後の展開

海外に注力、地元企業との連携も視野

主力である油圧機器業界の市場規模はそれほど大きくはないが、堅調に推移すると予想しており、今後は新興国を中心に需要が高まる特殊建機車両、農業機械車両、産業機械など海外展開に力を入れる。設備も特殊装置やアイデアを生かした、より高度な設備に進化させる。米国の品質管理も取り入れ、グローバルサプライヤーとしての地位の確立も図る。

また、所属する守口門真商工会議所会員企業との連携も視野に入れる。同会議所には世界に通用するオンリーワン技術を持つ企業が多い。日本でしか製造できない特殊形状の部品を使用している企業と機械加工面での協力体制を模索している。

女性従業員の登用も進める。育児中の女性にフレックスタイムを活用し、2次元・3次元のCAD/CAMを用いた工程設計の補助作業などを任せるとの予定。能美社長は「能力が高い女性が多い。子育てが落ち着いた人も採用したい」と話す。